

特定非営利活動法人地球緑化センター

# 令和4年度事業計画

# 令和4年度事業計画及び収支予算

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

## I. 基本方針

環境問題や農山村の過疎化などの社会の課題に対して、地球緑化センターとして様々なニーズに応えるボランティアプログラムの企画・運営・提供、情報発信を行っていきます。これまで実施してきている諸事業が更に充実したものとなるよう事業展開を目指していきます。その一方で、今後も継続的な事務局運営ができるよう、既存の事業について見直しをしつつ、財政基盤の整備を進めていきます。

これからの時代に当センターへ求められている役割を再度認識したうえで、社会的に意義のある事業を展開していけるようそれぞれの事業を実施していきます。

## II. 事業計画

### 1. 「緑のふるさと協力隊」事業

「緑のふるさと協力隊」は若者と農山漁村がともに地域活性化に取り組むプログラムです。

今年度で29年目を迎え、12市町村に14名の隊員を派遣します。隊員の活動が充実したものになるよう、受入先と連携をとりながら、年間を通じたサポートに取り組めます。

#### (1) 第29期(令和4年度)派遣及び活動の実施

- ・市町村数と人数 12市町村に14名(男6名、女8名)
- ・実施期間 4月6日～3月19日
- ・事前研修 4月6日～4月12日(山梨県立ゆずりはら青少年自然の里)
- ・中間研修 9月13日～9月15日(山梨県立ゆずりはら青少年自然の里)
- ・総括研修 3月16日～3月19日(未定)
- ・職員現地訪問 7月～8月

#### (2) 受入先担当者会議の開催

- ・開催 6月7日(火)～8日(水)1泊2日(国立オリンピック記念青少年総合センター)
- ・内容 受入市町村担当者同士の情報交換

#### (3) 短期体験プログラム「若葉のふるさと協力隊」の実施

- ①目的 農山村で暮らしてみたい、体験してみたいという農山村と関わるきっかけを求めている人、「緑のふるさと協力隊」に興味を持っている若者たちを対象に、農山村での暮らしを体験できる機会を提供する。また「緑のふるさと協力隊」への参加を促す。
- ②時期 8月～11月 4泊5日
- ③場所 「緑のふるさと協力隊」派遣先及び受入可能なOBOGの所在地。
- ④内容 農林漁業、草刈りや環境整備など集落が必要としている作業、祭りや伝統行事の手伝い

#### (4) 「緑のふるさと協力隊」関係団体との連携

- ① 緑のふるさと協力隊OBOGとの協力連携(隊員募集、経験談の発信、短期プログラムの協力)
- ② その他、自治体や大学、専門学校など

## (5) 第30期(令和5年度)募集計画

- ①受入自治体募集
- ②協力隊員募集
  - ・説明会の実施
  - ・ポスター、チラシの配布
  - ・インターネット等を活用した広報活動の展開
- ③日程
  - ・受入先募集の締切りは11月末
  - ・隊員募集の締切りは12月下旬
  - ・隊員の面接選考は東京で令和5年1月に実施

## 2. 体験・交流事業

### (1) 企業における社会貢献活動、CSR、社内研修および交流活動の支援協力

- ①メタウォーター(東京・奥多摩町)、沖電気工業(静岡・伊豆市)、電機連合(岩手・陸前高田市)、LIXIL住宅研究所(山梨・上野原市)、
- ②新規企業および受入自治体の開拓、プログラム構築
  - 「緑のふるさと協力隊」受入自治体を中心に、受け皿となるフィールドを新たに開拓しながら、企業と受入側をコーディネートできる仕組みを構築
- ③企業プログラム拡大に向けた広報活動
  - 企業と自治体をつなぎ関係人口の創出に寄与できるよう、HPなどを通じて積極的に広報活動を展開

### (2) 森林ボランティア「山と緑の協力隊」の開催および支援協力事業

- ①森林ボランティア開催
  - 既存のプログラムに加えて新規の活動場所でも新しくプログラムを展開し、会員をはじめより多くの人が森林ボランティアに参加できるようにする。
    - ・赤沢(長野県) 5月、10月 計2回
    - ・三宅島(東京都) 10月 計1回
    - ・湘南(神奈川県) 6月、7月、9月、11月、令和5年3月 計5回
    - ・高取山(滋賀県) 11月 計1回
    - ・高田松原(岩手県) 9月 計1回
- ②「森林・竹林・里山を整備する仲間の会②」との連携・支援

### (3) 中国・緑化交流事業

- ①緑の親善大使活動
  - 後記、特別会計事業「日中植林・植樹国際連帯事業」の助成を受けて、内モンゴル自治区、河北省豊寧県での緑化活動を推進
- ②企業参加プログラム 日本触媒(内モンゴル自治区・エジンホロ旗)

### (4) 「緑の学校」活動プログラム

- ①緑の作品や教材を活かし、地域や学校へ出前授業の開催、訪問学習の受入

## ②語り部活動の支援

児童を対象とした環境教育への取り組みを拡充させ、「語り部」のメンバーを増やしていくために、SNS などを活用しメンバー募集の情報を広く発信し、より多くの方が活動に関われる体制を目指す。

## ③作品の貸し出し

### (5) 学校等との連携プログラム

①日本大学サークル森友（国内緑化活動）

②湘南ビーチサイドウォーク及び湘南国際マラソンへの協力

## 3. 広報・PR 事業

### (1) 機関誌の発行

①機関誌「タマリスク」の発行

・年2回発行、B5・8ページ/カラー1,000部

②情報誌「緑の通信」の発行

・年3回発行、A3・両面/カラー300部 会員向け

### (2) 各種展示会及びイベント参加

①第93回メーデー中央大会（代々木公園）…4月29日（金・祝）

②みどりとふれあうフェスティバル（木場公園）…5月14日（土）～15日（日）

③中央区エコまつり…6月 ④中央区健康福祉まつり…10月 など

### (3) ホームページ、Facebook 等インターネットによる広報活動

・ホームページに加え Facebook、note 等に適宜活動報告を掲載

・Twitter、Instagram などの SNS を積極的に活用し、様々な情報を発信

## III. 組織・運営基盤の計画

### (1) 財政基盤の整備

新規会員の加入促進、事業収入の増額等、財源確保に努力し、堅実な財政運営を実現する。とくに法人会員・寄付金増に力を入れながら認定 NPO の取得も目指し財政の充実に努め、既に利用している syncable を更に活用し「キャンペーン寄付」などを積極的に展開する。

従来の郵便振替口座、銀行振込以外の会費納入の方法について検討し、利便性の向上を図る。

### (2) 共同活動の推進

・国、自治体及び関係機関・団体との共催事業や協力事業を積極的に推進する。

・各地の会員、事業参加者と連携し、展示会やセミナーなど協力活動を推進する。

### (3) 事務所移転

八重洲二丁目中地区再開発事業に伴い、令和4年夏頃に事務所の移転を実施する。

## 令和4年度 活動計算書(その他事業がない場合)

特定非営利活動法人 地球緑化センター

(単位:円)

科 目	金 額	小計・合計
<b>【A】 経常収益</b>		
1 受取会費		2,500,000
正会員受取会費	1,320,000	
賛助会員受取会費	80,000	
法人会員受取会費	1,100,000	
2 受取寄附金		1,600,000
受取寄附金	1,600,000	
3 受取助成金等		2,120,000
受取助成金	2,120,000	
4 事業収益		23,988,200
緑のふるさと協力隊事業	21,254,000	
体験・交流事業	2,734,200	
5 その他の収益		3,710,800
雑収入	3,710,600	
受取利息	200	
<b>経常収益計</b>		<b>33,919,000</b>
<b>【B】 経常費用</b>		
1 事業費		
(1) 人件費		8,835,576
給料手当	7,361,000	
法定福利費	1,062,096	
通勤費	412,480	
(2) その他経費		18,670,786
隊員生活費	7,875,700	
会議費	151,000	
消耗品費	230,000	
印刷製本費	1,337,000	
通信運搬費	795,950	
地代家賃	1,710,720	
旅費交通費	1,705,520	
諸謝金	285,000	
保険料	332,640	
研修費	1,900,000	
資材費	250,000	
中国事務所運営費	600,000	
リース料	392,256	
広告宣伝費	900,000	
雑費	205,000	
<b>事業費計</b>		<b>27,506,362</b>
2 管理費		
(1) 人件費		1,575,040
給料手当	1,296,000	
法定福利費	130,000	
通勤費	149,040	
退職給付引当金	0	
(2) その他経費		4,837,598
会議費	5,000	
消耗品費	80,000	
印刷製本費	10,000	
通信運搬費	100,000	
地代家賃	665,280	
旅費交通費	6,000	
リース料	98,064	
新聞図書費	5,272	
雑費	3,867,982	
<b>管理費計</b>		<b>6,412,638</b>
<b>経常費用計</b>		<b>33,919,000</b>
<b>当期経常増減額【A】-【B】・・・①</b>		<b>0</b>
<b>【C】 経常外収益</b>		
<b>経常外収益計</b>		<b>0</b>
<b>【D】 経常外費用</b>		
<b>経常外費用計</b>		<b>0</b>
<b>当期経常外増減額【C】-【D】・・・②</b>		<b>0</b>
<b>税引前当期正味財産増減額①+②・・・③</b>		<b>0</b>
法人税、住民税及び事業税・・・④		0
前期繰越正味財産額・・・⑤		17,335,478
<b>次期繰越正味財産額③-④+⑤</b>		<b>17,335,478</b>

令和4年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人地球緑化センター

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、 NPO法人会計基準 によっています。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況

(単位：円)

科目	緑のふるさと協 力隊事業	体験・交流事業	広報PR事業	事業部門計	管理部門	合計
<b>I 経常収益</b>						
1. 受取会費	600,000		0	600,000	1,900,000	2,500,000
2. 受取寄附金		1,400,000	0	1,400,000	200,000	1,600,000
3. 受取助成金等		1,700,000	0	1,700,000	420,000	2,120,000
4. 事業収益	21,254,000	2,734,200	0	23,988,200	0	23,988,200
5. 雑収入	0	0	0	0	3,710,800	3,710,800
経常収益計	21,854,000	5,834,200	0	27,688,200	6,230,800	33,919,000
<b>II 経常費用</b>						
(1) 人件費						
役員報酬	0	0	0	0	0	0
給料手当	4,151,000	3,080,000	130,000	7,361,000	1,296,000	8,657,000
退職給付引当金	0	0	0	0	0	0
法定福利費	628,740	433,356	0	1,062,096	130,000	1,192,096
通勤費	200,880	198,600	13,000	412,480	149,040	561,520
人件費計	4,980,620	3,711,956	143,000	8,835,576	1,575,040	10,410,616
(2) その他経費						
隊員生活費	7,875,700	0	0	7,875,700	0	7,875,700
会議費	150,000	1,000	0	151,000	5,000	156,000
消耗品費	150,000	70,000	10,000	230,000	80,000	310,000
印刷製本費	800,000	30,000	507,000	1,337,000	10,000	1,347,000
通信運搬費	600,000	100,000	95,950	795,950	100,000	895,950
地代家賃	902,880	522,720	285,120	1,710,720	665,280	2,376,000
旅費交通費	1,050,000	654,360	1,160	1,705,520	6,000	1,711,520
諸謝金	100,000	185,000	0	285,000	0	285,000
保険料	280,940	51,700	0	332,640	0	332,640
研修費	1,200,000	700,000	0	1,900,000	0	1,900,000
資材費	0	250,000	0	250,000	0	250,000
中国事務所運営費	0	600,000	0	600,000	0	600,000
リース料	196,128	147,096	49,032	392,256	98,064	490,320
新聞図書費	0	0	0	0	5,272	5,272
広告宣伝費	900,000	0	0	900,000	0	900,000
雑費	100,000	100,000	5,000	205,000	3,867,982	4,072,982
その他経費計	14,305,648	3,411,876	953,262	18,670,786	4,837,598	23,508,384
経常費用計	19,286,268	7,123,832	1,096,262	27,506,362	6,412,638	33,919,000
当期経常増減額	2,567,732	-1,289,632	-1,096,262	181,838	-181,838	0

## 特別会計事業 「日中植林・植樹国際連帯事業」

### 1. 河北省豊寧満族自治県砂漠化防止事業（令和2年度延期分）

場所：河北省豊寧県シャオバーズ郷富二営村

面積：13ha

樹種、本数：油松 14,300 本

植付時期：令和4年8月予定

(単位：円)

項目	内 訳	金 額
(1) 収入 「日中植林・植樹国際連帯事業」助成金	精算払交付金	6,863,000
(2) 支出 資材費 派遣費、事務費	苗木代、 派遣経費、人件費、消耗品費	5,073,000 1,790,000
差引差額		0

### 2. 内モンゴル自治区砂漠化防止事業（令和4年度分）

場所：内モンゴル自治区エジンホロ旗ハラサ

面積：10ha

樹種、本数：障子松 8,400 本

植付時期：令和4年4月～5月実施

(単位：円)

項目	内 訳	金 額
(1) 収入 「日中植林・植樹国際連帯事業」助成金	精算払交付金	8,477,000
(2) 支出 資材費 派遣費、事務費	苗木代、 派遣経費、人件費、消耗品費	5,740,000 2,737,000
差引差額		0

